うひはたぶみ(初機踏)

H.A.M.A.木綿庵だより 第60号 2021(令和3)年12月26日

(編集発行 梅田正之 090-5042-7775)

大和機での4作品目 – 「ファイト」: 次号より不定期刊行に –

大和機(やまとばた)を用いた4作目の作品を、自宅の綿部屋で織り始めました。整経、巻き取り、綜絖(もじり)通し、筬(おさ)通し、織り付けまでは相楽木綿伝承館機織り教室で行い、経絣糸(たてかすりいと)の調整の仕方を教えていただいてから、千巻(ちまき)とチキリを機(はた)から下ろし自宅に持ち帰ってきました。整経長600cm。整経重175g。経絣糸重20g。織り巾40cm。経糸数728本。織筬45度。緯糸密度18本。経糸(たていと)は30番双糸。地糸に藍紺を用い茜色、薄紫色、水色で縞を構成しました。緯糸(よこいと)は14番単糸。経糸、緯糸ともに藍紺の糸と絣糸を用いました。作品としては10筋の色糸縞と9筋の絣糸縞の縦縞に緯絣が入る工夫絣となります。

今後の参考資料とするために、整経から織り付けまでの記録を以下に記しておきます。

整経は、2020年12月13日。織り巾40cmとし1cm9羽の竹筬を使用。双羽で1cm18本。基本の経糸は18本×40=720本。両端に2本取りを加えて総経糸数は728本となります。

縞柄(しまがら)は、色糸縞と絣糸縞の2種類。色糸縞は茜色2本、薄紫色2本、水色2本の計6本で1縞を構成します。色糸縞は10筋のため6本×10縞で色糸は60本。絣縞は絣糸4本で1縞を構成します。絣縞は9筋のため4本×9縞で絣糸は36本。720本から色糸60本と絣糸36本を差し引いて地糸は624本となります。縞は計19筋。本来であれば両端合わせて1筋の縞が入る計算のため、1縞分6本を引いて618本。縞と縞の間の地糸の列は20列となり、618本を20列で割ると30.9。経糸は偶数本にする必要があるため32本×9列で288本、30本×11列で330本として計618本。両端は1縞6本を2本と4本に分けて配分することにし、左端列を32本+2本+2本取りの4本=38本。右端列を30本+4本+2本取りの4本=38本とします。32本×8列=256本。30本×10列=300本。そこに左端38本と右端38本を加えて地糸632本となります。色糸60本、絣糸36本を加えて、総経糸数は728本となります。

糸枠は、右から地糸4枠、茜色1枠、薄紫色1枠、水色1枠と、地糸4枠の計11枠を並べます。色糸縞は1種類3枠しかなく、色糸3枠と地糸6枠の計9枠(18本)で1セットとしてこれを仮にAとします。一方、地糸6枠

(12本)で1セットとしこれをB、地糸7枠(14本)で1セットをC、地糸8枠(16本)で1セットをDとします。このA、B、C、Dの組み合わせで整経を行いました。右端からDD(32本)、A/BBBC(68本)、… (A/BBBCを計8回繰り返す)…、A/DDD(66本)、左端A/DD(50本)。これにより総整経数692本となり、ここに経絣糸36本を加えて総経糸数728本となります。

巻き取り2021年3月22日。経絣糸の糊付け3月25日。整経糸に絣糸を入れる作業4月5日。綜絖通し4月16,19日。筬通し10月3,10日。機掛けと経絣糸の糊付け10月31日。織り付け11月7日。一旦機から下ろし、自宅に持ち帰り、機織り再開11月21日。作品の題名は「ファイト」。

この作品を織り上げた後は、いよいよ第2段階に入ります。すなわち木綿庵の畑で栽培した綿から手紡ぎした糸で白木綿を織り、草木染めによる絣織りへと歩みを進めていきます。なお、これを吉祥に本誌は次号より、月刊から不定期刊行とさせていただきます。



大和機による経緯絣の工夫絣

---- Monthly Data ----

【天理やまのベ木綿庵】(問い合わせ件数 令和3年11月24日~令和3年12月26日)

東京都1、神奈川県1、新潟県1,愛知県2、滋賀県1、京都府1、大阪府2、兵庫県1、愛媛県1、宮崎県1

【H. A. M. A. 木綿庵】(令和3年11月24日~令和3年12月26日)

メールを含む各種相談件数6、綿畑や作業場の見学を兼ねた事前申込済来庵者数4件5名



《綿の栽培記録 2021》- 令和3年度版 その11-

天理市乙木町における梅田の感覚的観測データです。○=晴れ。△=曇り。×=雨。○/×=晴のち雨。○|×=晴時々雨。 △:×=曇り一時雨。

11月27 \triangle :×、28 \bigcirc | \triangle 、29 \bigcirc | \triangle 、30 \bigcirc | \triangle /×、12月1×/ \triangle | \bigcirc 、2 \bigcirc | \triangle 、3 \bigcirc | \triangle 、4 \bigcirc | \triangle 、5 \bigcirc | \triangle 、6 $\bigcirc |\triangle, 7 \times, 8 \times \triangle, 9 \triangle \bigcirc, 10 \bigcirc |\triangle, 11 \bigcirc |\triangle, 12 \bigcirc |\triangle \times, 13 \bigcirc |\triangle, 14 \bigcirc, 15 \bigcirc, 16 \triangle |\bigcirc / \times, 17$ \times/\triangle , 180 \triangle , 190 \triangle , 200 \triangle , 210 \triangle , $22\triangle$, $23\triangle$ \bigcirc , $24\triangle/\times$, $25\times/\triangle$, $26\triangle$ \bigcirc .

11月末日までに6号畑の綿木引きを終え、12月18日に7号畑の綿木焚きを行い、12月26日に1号畑の綿木 引き、綿畝の後仕舞いを終え、これをもって2021年(令和3)の木綿庵の綿の栽培をすべて終了させていた だきました。本年も、綿の種蒔きから収穫、後片付けまで、多くのみなさんにお手伝いをいただきました。 ご協力くださいましたみなさま、ほんとうにありがとうございました。

写真は左から、1号畑の和綿畝、同洋綿畝の片付け、畑で集めた緑のボールを干しているところ、大和機の経糸/絣糸







《綿の収穫量の記録 2021年産》 実綿暫定収穫総量=17,426g (前年度は22,399g)

2021年産(令和3年)の綿の総収穫量(実綿)は下記の通りです。今季は1号畑のほかに5号畑、6号畑、7号 畑でも栽培に取り組みました。今季は茶綿、緑綿の栽培は行わず、試験的にすべての畝で元肥の量を控 えめにしました。なお、7号畑を「試験農場」として、河内綿(千塚)、伯州綿(境港)、真岡綿、洋綿(綿 花子)、洋綿(品種確認中)を栽培しました。また、綿木を抜いた後に、枝に残る緑の蒴果を集めてみまし た。初めての試みです。籠に入れて干すことで、どれだけの収量アップにつながるか、これも試験的な 取り組みの一つです。*以下の収量には、まだ、緑の蒴果分は含まれていません。

◇和綿 1、大和山辺綿:赤木(天理市) 2, 752g 2、大和山辺綿:青木(天理市) 3, 262g 大和山辺綿の赤木、青木を区別せずに収穫 5, 514g 和綿コットンボール 600個 1, 500g $\times 2.5g$ 3、河内綿:千塚(大阪府、八尾市立歴史民俗資料館) 376g6、伯州綿:境港(鳥取県境港市) 96g8、真岡綿:真岡(栃木県真岡市) 422g◇洋綿 9、洋綿アプランド 968g 洋綿アプランド コットンボール300個×6.5g 1, 950g 10、洋綿(品種確認中) 366g11、洋綿(綿花子) 2021.12.26現在の暫定総収穫量

 $2\ 2\ 0\ g$ 17. 426g



綿部屋の大和機

【綿の加工の作業記録】 (梅田1人の作業量)

・糸車を用いての糸紡ぎ量 (和綿:平成30年,2018年産。丹羽正行氏による打ち綿) 令和3年11月24日~12月26日(作業実日数9日) 糸の総量23.6g(6.3匁) 総時間1時間22分 ※1分間≒0.288 g 1時間≒17.3g (4.6匁)

【研修等の記録】

・令和3年12月04日 イベント「Tシャツを1からつくろう」ワークショップ講師を務める(天理市山田町)